

森林ICTプラットフォームを活用した地域活性化プロジェクト

実施団体

北海道中川町、兵庫県佐用町、鳥取県三朝町

実施地域

北海道中川町、兵庫県佐用町、鳥取県三朝町

事業概要

ICTを活用した森林資源量の効率的な把握（岡山県真庭市）の横展開に向けて、複数市町村が連携して、真庭市モデルの全国展開に向けた森林ICTプラットフォームを導入し、森林資源の活用を通じた地方創生の実現を図る。

<真庭モデル普及展開のこれまでの取組>

【真庭モデルの形成】

- ✓地域活性化に高い効果を有する真庭モデルを形成し、中国地方（岡山県北部3市町村）を対象に普及展開中。導入効果があることを確認済。
- ✓林野庁のICT関連事業と連携し、検討中の森林クラウド標準仕様を実装。森林行政に即したデータ整備が可能であることを実証済み。

全体イメージ



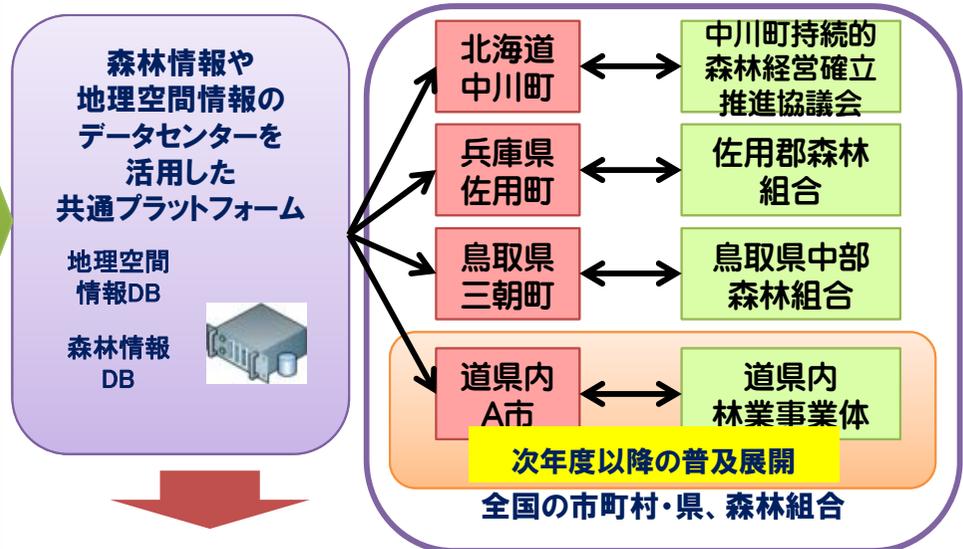
森林林業クラウド
(専用ソフトウェア)

ロボットセンサーを用いた
森林モニタリング

<全国への展開>

【真庭モデルに基づく森林ICTプラットフォームの全国展開】

- ✓岡山県北部を超え北海道、兵庫県、鳥取県等を対象に全国展開に着手。
- ✓森林構成の違い、サプライチェーンも含めたICT導入、地籍情報の有無等、今後のPF普及に向けた周辺環境の違いを踏まえたモデル構築に寄与。



【地域の活性化、雇用機会の創出】

- ✓森林情報の共有化・統括に伴い、産業活性化に取り組む。